

平成 26 年 3 月 20 日

報道関係各位

本学社会福祉学部との共同研究・実証実験の成果を活用した、シニア向け安心アプリ 「つながりほっとサポート」が株式会社NTTドコモから提供開始

本学社会福祉学部（小川晃子研究室）及び株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）はスマートフォンを活用した「高齢者みまもり活動」について共同研究を行い、平成 25 年 4 月から 6 月にかけては岩手県滝沢市内において実証実験を行いました。

その研究・実験により得られた知見や、見守られる側・見守る側、双方の参加者のご意見を活かし、ドコモから、らくらくスマートフォン向けアプリ「つながりほっとサポート®」として平成 26 年 3 月 25 日（水）より月額使用料無料で提供されることとなりましたので、お知らせします。

ご取材についてよろしく申し上げます。

記

1. 取組みの経緯について（連携の状況）

ドコモのアプリの開発にあたっては、能動的な高齢者の安否確認システムである「おげんき発信（※1）」の開発・研究に長年携わってきた本学社会福祉学部（小川晃子研究室）と昨年共同研究を行い、スマートフォンを活用した高齢者見守り活動に関する実証実験を平成 25 年 4 月から 6 月にかけて実施。そこから得られた知見や見守られる側・見守る側、双方の参加者の意見を活かし、シニア見守りにおけるスマートフォン活用の可能性の評価などが行われたもの。

※1：「お元気発信」の詳細は別紙をご覧ください。

2. シニア向け安心アプリ「つながりほっとサポート®」について

ドコモにより、現在シニアとそこご家族に向けたあんしんサービスとして、らくらくホンベーシック 3 向けに提供中の「つながりほっとサポート」の機能を拡充し、らくらくスマートフォン向けに「つながりほっとサポート」アプリとして、平成 26 年 3 月 25 日（水）から無料（※2）で提供されるもの。

らくらくスマートフォン向け「つながりほっとサポート」は、普段どおりスマートフォンを使用するだけで、あらかじめ指定したご家族等（つながりメンバー）へ、携帯電話の利用状況をメールで伝えることができるサービス。今回らくらくスマートフォン向けに新たな機能として、「つながりほっとサポート」アプリ上で、シニアの方が日々の体調を登録し、その情報もあわせて「つながりメンバー」へ通知できる機能を追加。また、アプリ上では、日々の体調や歩数を振り返って確認することも可能。

つながりメンバーは、1 日 1 回、あらかじめ指定した時間に送られるメールでシニアの状況が確認できるほか、体調が「わるい」と登録されたときやスマートフォンの電池残量が一定値以下になった場合など、あらかじめ指定した条件でもメールを受け取ることができる。

※2：アプリのダウンロードや専用サイトへのアクセス、スマートフォン利用状況のメール受信、サーバとの定期通信などについては別途パケット通信料がかかります。料金の詳細はドコモにお問合せください。

「つながりほっとサポート」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

【本件に関する問合せ先】 岩手県立大学社会福祉学部 教授 小川晃子 (Tel 019-694-3343)

図 2. ICT を活用した生活支援型コミュニティづくり

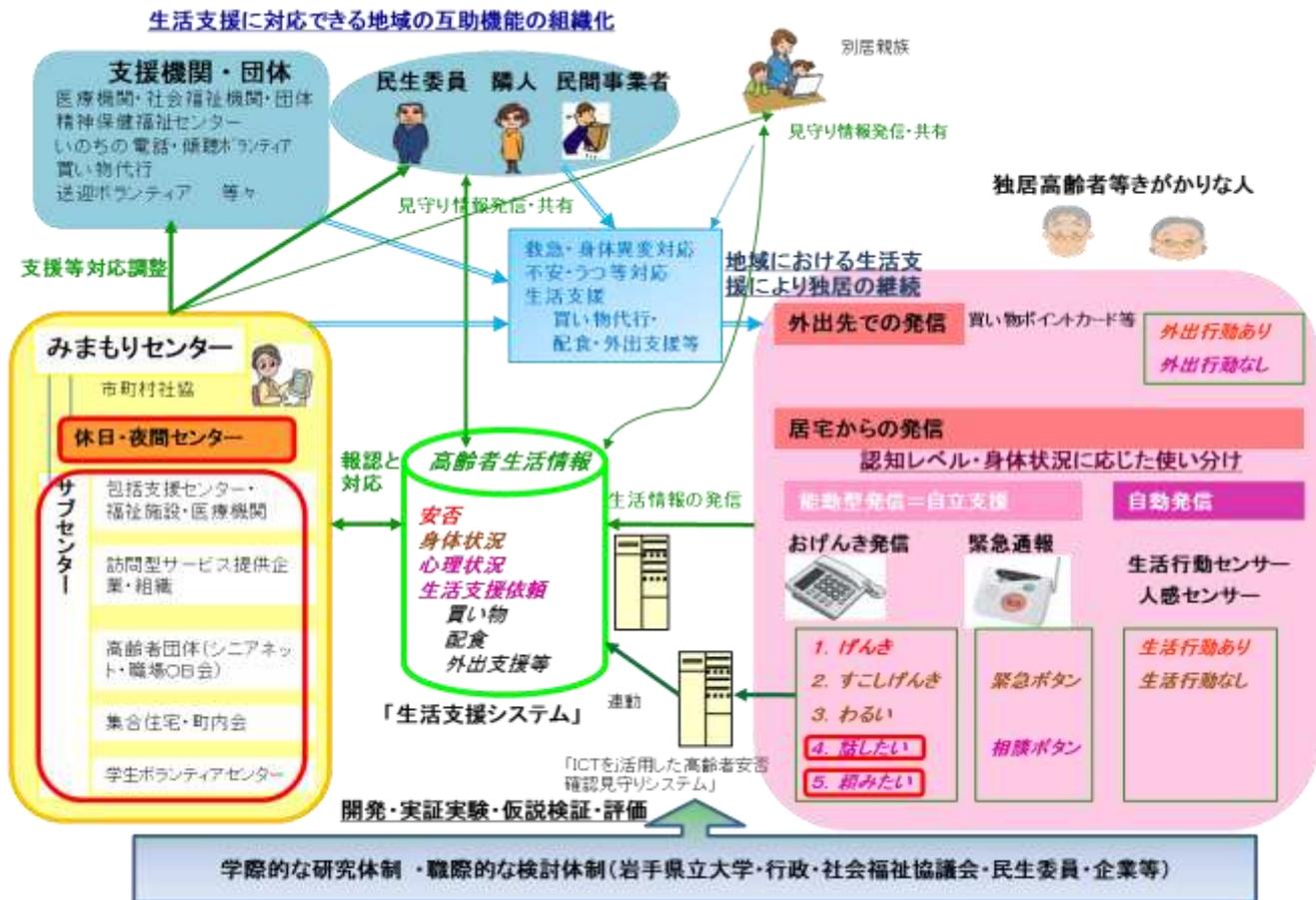


図 3. 被災地におけるみまもり体制支援（釜石市鶴住居での取り組み事例）

